

平成28年度

事業報告

公益財団法人かながわ国際交流財団

平成28年度事業報告について 定款第42条第1項第7号

中期計画の初年度にあたり、中期重点目標である「多様性を尊重する“かながわ”の人づくり・地域づくり」の目指す方向に沿った事業運営に努めた。また、財団の重要課題である財務体質の改善に向け、寄付活動や県内自治体からの委託事業の受注など、財団価値のアピールを積極的に行った。

「1 多文化共生の地域社会かながわづくり」

「生活情報の提供と安全サポート」では、神奈川県が新たに設置した「多言語支援センターかながわ」の運営をNPO法人多言語社会リソースかながわ（MICかながわ）と協働で受託した。財団のこれまで行ってきた多言語情報の提供や外国人住民子育て支援事業と連動し相乗効果を発揮しながら、窓口およびコールセンター業務、外国人住民支援の人材育成、希少言語の専門人材育成および通訳派遣を実施した。「INFO KANAGAWA」は、目標値を超える読者を拡大することができた。

「外国人住民子育て支援事業」においては、平成27年度に実施した調査結果をもとに、平成32年度までの5年間に外国人住民が安心して子育てを行う環境を整備する計画を策定した。コミュニケーションツールの作成・普及、多言語支援センターとの連携による通訳支援の仕組みづくり、専門職対象の研修を行った。なかでも、情報提供の充実については、「外国人住民子育て応援キャンペーン」を展開し、企業・団体の協賛や協力を得ながら実施中である。

「2 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進」

「かながわ民際協力基金」の運用益を活用し、NGO等が行う活動（国内協力事業1件、多文化共生の地域社会づくり応援事業4件）への資金助成を決定、実施した。また、これまでに助成した緊急支援事業を紹介する災害支援の講演会を開催し、災害を契機にした国際協力のあり方を考える場をつくることができた。

「外国人コミュニティ連携強化事業」では、「かながわ・こみゆにてい・ねつとわーく・さいと」を運営し、外国人コミュニティの活動を広く発信するとともに、「老後」「年金」をテーマに外国人コミュニティとの意見交換会を開催した。

「3 国際性豊かな人材の育成」

高校生を対象とする事業では、「難民」をキーワードに、難民支援活動に携わるNGOからの報告や難民の心情に迫るための演劇ワークショップ、さらに参加者同士が哲学対話を通してお互いの考えを深く知るセミナーを行った。世界を知ることと自己を見つめるプログラムを織り交ぜたことから、日ごろの高校生活では得難い体験の場が実現し、参加者の意識の変容を促すことができた。

大学生を対象とする「国連大学グローバルセミナー」では、「法の支配と国際社会」をテーマとして、国際司法裁判所の判事による講演をはじめとして、ヘイトスピーチに対する法整備を地域の取り組みから実現させた当事者を講師に招くなど、「グローバルとローカル」がリンクする多層的なプログラムとすることができた。また「インカレ国際セミナー」では、「アジアの中の日本」のテーマのもと、アジアにおける新しい協力関係構築について留学生を交えて幅広い討論と交流を行った。

「4 学術・文化交流の促進」

かながわフォーラム開催事業は、「神奈川のコミュニティとグローバリゼーション」を2か年のトータルテーマとして、格差の拡大やこれに伴う貧困の拡がり、コミュニティの崩壊などの社会的課題の解決に向け、県内の現状を踏まえ議論を行った。また、開催方法を複数回の連続シリーズに変更して、個別テーマをさらに深く掘り下げた。

「社会教育・文化施設間連携事業」は、「ミュージアム・サミット」の成果や経験を活かし、県立近代美術館をはじめとする県内の公立美術館等の協力を得て、大きくその内容を刷新した。特に美術館のもつ「社会包摂機能」に着目して、障がい者や外国人住民を含め、すべての人が利用しやすい美術館のあり方を考えていくため、先進事例を学びながら館同士のネットワークの強化を図るとともに、今後の方向性を探った。

事業体系

	大項目	中項目	個別事業
1	多文化共生の 地域社会かながわづくり	外国人住民への 生活情報の提供と安全サポート	生活情報提供・流通促進事業
			災害時情報提供事業
			多言語支援センター運営事業
		外国につながる 子ども・家族への支援	外国人住民子育て支援事業
			多文化共生教育推進事業
			外国につながる保育士養成事業
			多文化ソーシャルワーク講座企画運営事業
		留学生・元留学生への支援	留学生・元留学生の社会参加促進事業
グローバル人材支援事業			
2	県民・NGO等との 連携・協働による国際活動の促進	NGO/NPOへのサポート	かながわ民際協力基金助成事業
		外国人コミュニティと 地域社会の接点づくり	外国人コミュニティ連携強化事業
		県民活動支援	情報発信事業
3	国際性豊かな人材の育成	高校国際教育支援	高等学校への学習プログラム支援事業
			高校生対象国際セミナー開催事業
		大学間連携 グローバル人材育成	国連大学グローバルセミナー開催事業
			インカレ国際セミナー開催事業
4	学術・文化交流の促進	学術交流による ローカリゼーションの強化	かながわフォーラム開催事業
			湘南国際村アカデミア開催事業
		文化交流の推進	社会教育・文化施設間連携事業
			調査研究
		学術交流・成果発信事業	

1 多文化共生の地域社会かながわづくり

(1)外国人住民への生活情報の提供と安全サポート

① 生活情報提供・流通促進事業

ア 「INFO KANAGAWA」による情報提供

(ア) 多言語情報メールサービス「INFO KANAGAWA」の配信

配 信	71回
対 象	外国人住民、NGO/NPO 関係者、行政関係者等
内 容	行政からのお知らせ（保健、福祉、教育、防災等）、その他生活に必要な情報、イベント情報等
言 語	やさしい日本語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、英語
登録者数	①2,783名

内訳：やさしい日本語 788名、中国語 259名、スペイン語 524名、ポルトガル語 340名、タガログ語 101名、英語 771名

② 963名（Facebook ファン数）

(イ) 多言語情報メールサービス「INFO KANAGAWA」の多言語雑誌への広告掲載

媒 体	雑誌 「フィリピンダイジェスト」、「KMC マガジン」 ニュースレター（大和市国際化協会）
-----	--

イ 多言語情報の普及

(ア) 「災害への備えは大丈夫？」チラシ・ポスターの更新

仕 様	（チラシ）A4版 （ポスター）A2版
言 語	新規作成：タガログ語版・ベトナム語版 内容更新：中国語、スペイン語、ポルトガル語、英語 ※日本語併記

(イ) 「神奈川で生活する外国人住民のためのお役立ち情報」パンフレットの作成

仕 様	A5版
言 語	やさしい日本語、中国語、タガログ語、ベトナム語、英語 ※日本語併記

(ウ) 外国人コミュニティや国際交流協会等のイベントでの多言語資料の配布

「いちょう団地まつり（横浜市泉区／大和市）」、「ベトナムフェスティバル（横浜市中区）」等

ウ 「多言語医療問診票」の提供

対 象	外国人住民、医療関係者、NGO/NPO 関係者等
言 語	18言語 （中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語、タイ語、インドネシア語、カンボジア語、ネパール語、ラオス語、ドイツ語、ロシア語、フランス語、ペルシャ語、アラビア語、クロアチア語） *日本語は各言語に併記
科 目 数	11科目 （内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科、精神科）
リンク・転載掲載等件数	40件
アクセス数	188,437件

エ 日本語教室、学習補習教室、母語教室の情報提供

調査件数	情報内容の確認依頼：102件 新規掲載件数：2件 削除件数：6件
掲載件数	日本語教室：69件 学習補習教室：15件 母語教室：14件

② 災害時情報提供事業

ア 「神奈川県災害多言語支援センター」の設置・運営訓練の実施

日 程 平成 28 年 11 月 25 日 (金)
 会 場 神奈川県庁 (横浜市中区)、多言語支援センターかながわ (横浜市神奈川区)
 内 容 情報発信訓練、相談対応訓練、組織間連携訓練等
 参加者数 25 名 (県 7 名、多言語支援センターかながわ 18 名)

イ 神奈川県内災害多言語支援センター連絡会の開催

日 程 平成 28 年 9 月 20 日 (火)
 会 場 神奈川韓国会館 (横浜市神奈川区)
 内 容 各災害多言語支援センターの状況、取組、訓練方法等に関する情報共有
 参加者数 9 機関 16 名

神奈川県、横浜市、相模原市、大和市、(公財)横浜市国際交流協会、(公財)川崎市国際交流協会、さがみはら国際交流ラウンジ、(公財)大和市国際化協会、(公財)かながわ国際交流財団

③ 多言語支援センター運営事業【神奈川県委託】

ア 窓口及びコールセンター業務 (多言語ナビかながわ)

言 語 やさしい日本語、中国語、タガログ語、ベトナム語、英語
 方 法 電話対応、来所対応
 内 容 「保健医療」「子育て支援」「災害」等に関する情報提供及び通訳支援
 件 数 900 件 【内訳】電話：597 件 来訪：207 件 文書：96 件
 言 語 やさしい日本語 537 件、タガログ語 72 件、ベトナム語 70 件、英語 70 件、
 スペイン語 58 件、中国語 52 件、ポルトガル語 38 件、その他 3 件

イ 外国籍県民支援人材育成業務

日時	概要
5 月 16 日 17 日 23 日 24 日	題目：外国につながるのある児童・生徒に関する教育と課題 会場：神奈川県立総合教育センター善行庁舎(藤沢市) 対象：県内小中学校、特別支援学校教諭、養護教諭・栄養教諭(5 年経験者) 参加者数：874 名 講師：財団職員 内容：外国籍児童生徒の状況や課題、支援の工夫や活用できる資料の紹介等
5 月 19 日	題目：外国につながる母子を理解するために 会場：綾瀬市役所(綾瀬市) 対象：綾瀬市主任児童委員、市保健医療センター保健師 参加者数：15 名 講師：レ・ティ・シュン・ユウ(ベトナム語通訳)、財団職員 内容：外国人住民の現状、妊娠・出産・子育てに関する日本との違いの紹介
6 月 24 日	題目：「外国人の子どもがいると大変！」ってホント？ 会場：東海道かわさき宿交流館(川崎市川崎区) 対象：保育士 参加者数：24 名 講師：鈴木ミリアム(タガログ語言語スタッフ)、財団職員 内容：講義(外国人の背景理解)、ロールプレイ(保育園での対応)
7 月 27 日	題目：外国につながる子どもの未来を支えるために 会場：平塚市教育会館(平塚市) 対象：平塚市立小・中学校国際教室および日本語指導担当者、日本語指導協力者 参加者数：43 名 講師：赤嶺和枝(スペイン語通訳)、財団職員 内容：新規来日、日本生まれの子ども・保護者への対応や高校進学支援について

9月12日	題目:外国につながる子ども・家族の理解 会場:神奈川県中央児童相談所(藤沢市) 対象:県および横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市の児童相談所職員、および児童福祉に関わる職員 参加者数:13名 講師:倉橋ジュラルディン(タガログ言語スタッフ)、赤嶺和枝(スペイン語通訳)、香川トア(ベトナム語通訳)、財団職員 内容:言語、文化、経済状況等に配慮した面接練習、グループワーク
9月29日	題目:やさしい日本語研修 会場:かながわ県民センター(横浜市神奈川区) 対象:かながわ県民センター入居機関 参加者数:23名 講師:坂内泰子(県立国際言語文化アカデミア) 内容:やさしい日本語ワークショップ、多言語支援センター案内
通年	県立国際言語文化アカデミア主催行政職員対象講座及び外国籍県民対象講座への参加・協力

ウ 希少言語等専門人材の確保・育成業務

(ア) 雇用した職員数

ベトナム語 6名、タガログ語 3名

(イ) 事前研修

日程	会場	テーマ・内容	講師	参加者数
4月 1日	多言語支援センター	多言語支援センターの概要とスタッフの役割、財団・MIC かながわの組織概要	神奈川県国際課 MIC かながわ役員 財団職員	12名
4月 8日	KANAFAN STATION	相談対応の基礎、電話対応のロールプレイ	岡田澄恵 (ソーシャルワーカー)	16名
4月 15日	多言語支援センター	個人情報保護、医療通訳・一般通訳派遣制度の概要、多言語支援センターの災害時対応、情報提供のあり方	神奈川県情報公開広聴課 MIC かながわ職員 財団職員	16名
5月 20日	多言語支援センター	在留資格、病院情報、多言語情報活用、トリオフォン通訳演習等	MIC かながわ職員 財団職員	9名

(ウ) 職員研修

日程	会場	テーマ・内容	講師	参加者数
6月 10日	KANAFAN STATION	「多言語ナビ」の役割、事例共有	MIC かながわ職員 財団職員 岡田澄恵	11名
8月 3日	多言語支援センター	多言語支援センター・多言語ナビの基本ルール、医療通訳・一般通訳の仕組み他(新スタッフ研修)	MIC かながわ職員 財団職員	3名
8月 27日	多言語支援センター	①電話通訳ルール説明とロールプレイ演習 ②日本語ブラッシュアップ研修「敬語」	①今吉直子(電話相談員) ②坂内泰子(アカデミア)	6名
10月 15日	多言語支援センター	①事例共有 ②日本語ブラッシュアップ研修「電話のかけ方」	①岡田澄恵 ②小島佳子(アカデミア)	11名
12月 2日	かながわ県民センター会議室	①事例共有、「子育て支援」研修 ②日本語ブラッシュアップ研修「要点の聴き方・メモの取り方」	①岡田澄恵、財団職員 ②村上まさみ(アカデミア)	9名
2月 18日	多言語支援センター	①事例共有、相談対応演習 ②日本語ブラッシュアップ研修「報告の日本語」	①岡田澄恵 ②村上まさみ	9名
3月 11日 18日	かながわ県民センター会議室	タガログ語コミュニティ通訳養成講座 ①ハローワークでの通訳 ②日本での出産・子育てに必要な手続き場面での通訳	MIC かながわ通訳コーディネーター	5名

(エ) その他の研修

多言語支援センタースタッフを県および外部団体が主催する研修会に派遣した。

エ 通訳派遣業務

言語	内容	合計
ベトナム語	医療	81
	一般	28
タガログ語	医療	93
	一般	21
合計		223

オ 広報

(ア) チラシ及びカードの作成・普及

仕 様 (チラシ) A4 版 (カード) 名刺サイズのカード版
部 数 (チラシ) 12,000 部 (カード) 6,000 部
発 送 県内国際交流協会、行政、外国人コミュニティなど
配 布 行政職員向け研修、MIC ボランティア向け研修、教会、JICE 外国人就労・定着支援研修等で配布

(イ) 広告

媒 体 フリーペーパー「横浜シーサイダーズ」広告掲載 (4 ヶ月間)
かながわ県民センター 広告掲示 (5 ヶ月間)

(ウ) イベント・講座などでの広報

いちょう団地祭り、ベトナムフェスタ、外国人就労・定着支援研修などで配布・説明

(エ) その他

かながわ県民センター1 階の掲示コーナーで紹介

(2) 外国につながる子ども・家族への支援

① 外国人住民子育て支援事業

ア コミュニケーションツールの作成・普及

対 象 保健師、保育士、子育て支援センター職員等の支援者
内 容 外国人住民のための子育てチャート ～妊娠・出産から小学校入学まで～
仕 様 (チャート) A3 版 (ポスター) A2 版
部 数 (チャート) 22,000 部【内訳】英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語
(ポスター) 1,000 部
配 布 先 縣市町村 (母子保健・保育関連部署)、国際交流団体、子育て支援センター等

イ 子育て支援分野における通訳派遣の試行

対 象 県市町村（母子保健・保育関連、子育て支援関連部署）、保育園等

内 容 子育て支援分野への通訳派遣

派遣実績

	愛川町	綾瀬市	大和市	伊勢原市	座間市	川崎市	厚木市	小田原市	鎌倉市	秦野市	藤沢市	相模原市	合計
中国語	2							1					3
ベトナム語		2	11	3	2								18
スペイン語		1			2					1			4
タイ語		1	1										2
英語		4		1	1				1				7
タガログ語			1		1	5		1			1		9
シンハラ語					2								2
カンボジア語	5		2									1	8
ラオス語	1												1
ベンガル語					2								2
ポルトガル語						3	2						5
インドネシア語						2							2
ロシア語									1				1
合計	8	8	15	4	10	10	2	2	2	1	1	1	64

ウ 子育て支援分野における専門職を対象とした研修の実施

日程	会場	テーマ・内容	対象	参加者数
5月19日	綾瀬市役所 (綾瀬市)	外国につながる母子を理解するために	綾瀬市民生委員・児童委員	15名
9月19日	横浜市開港記念会館 (横浜市中区)	外国につながる子どもも受け入れる保育	横浜市保育士	20名
11月9日	神奈川県社会福祉会館 (横浜市神奈川区)	外国につながる子どもについて	児童養護施設職員	14名
11月25日	ミューザ川崎 (川崎市幸区)	子育て中の外国人支援のポイント	保育士 子育て支援センター職員	24名
2月4日	JICA 横浜国際センター (横浜市中区)	外国人住民のための子育て応援ワークショップ	外国人住民の子育て支援従事者・関心のある方	19名
2月20日	綾瀬市役所 (綾瀬市)	外国人親子の現状や課題、対応方法等について	綾瀬市保育士	80名

② 多文化共生教育推進事業

ア 外国につながる子ども支援のための関係機関連絡会の開催（共催：神奈川県教育委員会）

日 程 平成28年10月12日（水）

会 場 県立地球市民かながわプラザ（横浜市長区）

内 容 外国につながる子どもの教育支援に関する情報共有、先進事例の紹介等

参加機関 18 機関（神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会、横須賀市教育委員会、鎌倉市教育委員会、藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、綾瀬市教育委員会、平塚市教育委員会、伊勢原市教育委員会、小田原市教育委員会、県央教育事務所、中教育事務所、県西教育事務所、県立総合教育センター、(特活) 多文化共生教育ネットワークかながわ、(公社) 青年海外協力協会）

イ 外国につながる子ども支援のための調査

国際教室設置校のある市・町教育委員会の協力を得て、「国際教室在籍生徒の進路に関わるアンケート調査」を実施し、結果を公表した。

U R L http://www.kifjp.org/news_tabunka/3309

ウ 外国につながる子ども支援のための意識啓発

(ア) リーフレットの作成

外国につながる子ども・保護者に関わる支援者が、子どもの文化・宗教等の背景を理解し、よりよい対応や支援の一助となるパンフレットを発行した。

タイトル 「イスラームの子どもたちを理解するために」

仕 様 A5版/8頁

部 数 5,000部

配布先 県・市町村教育委員会（小学校、中学校、高等学校）、関係団体等

(イ) 多文化共生教育のリソース紹介

名 称 第66次神奈川県教育研究集会「かながわ教育フェスティバル2016」

日 程 平成28年10月29日（土）

会 場 茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校（茅ヶ崎市）

エ 「外国人住民子育て支援サイト」の構築

対 象 外国人住民および支援者（保健師、保育士、子育て支援センター職員等）

内 容 妊娠出産から子どもの就学までの手続きや支援サービス説明、「母子保健」「保育」などで活用できるコミュニケーションツール紹介等

対応言語 日本語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、英語

U R L <http://www.kifjp.org/kcns/>

③ 外国につながる保育士養成事業

神奈川福祉事業協会からの助成を受け、横浜 YMCA との協働により、外国につながる保育士養成を支援する「神遊協・神福協奨学金」を運営し、第二期の奨学生の募集及び選考を行った。

出願期間 平成28年10月1日（土）～21日（金）

試 験 日 平成28年10月22日（土）

奨学生採択 4名

対象期間 平成29年4月から平成32年3月まで

一人当支給額 180万円（50,000円×12か月×3年間）

奨学生数 5名（第一期1名、第二期4名）

④ 多文化ソーシャルワーク講座企画運営事業【神奈川県委託】

ア カリキュラム検討会の実施

日 程 平成28年6月27日（月）

会 場 かながわ国際交流財団横浜事務所（横浜市神奈川区）

検討委員 鶴田光子（聖テレジア病院スーパーバイザー）、岡田澄恵（フリーランス・ソーシャルワーカー）、大川昭博（（特活）移住者と連帯する全国ネットワーク理事）、門美由紀（東洋大学助教）

内 容 日程調整、講師の選定、認定社会福祉士の認証、広報計画等

イ 多文化ソーシャルワーク講座の開催

日 程 平成 28 年 11 月 13 日（日）、11 月 23 日（水・祝）、12 月 4 日（日）

会 場 神奈川県韓国会館（横浜市神奈川区）

参加者数 68 名（うち、第 1 回公開講座のみ参加 32 名）

日程	テーマ・内容	講師
11 月 13 日	「多文化共生時代の子育て支援」（基調講演、実践報告、パネルディスカッション）	鶴田光子（聖テレジア病院スーパーバイザー） 山野良一（名寄市立大学教授） 福山満子（中国出身、横浜市泉区上飯田地区元主任児童委員） 金子美津子（瀬谷区地域子育て支援拠点にこてらす横浜子育てパートナー） 後藤美樹（外国人ヘルプライン東海代表）
11 月 23 日	「異なる文化・価値観をもつ人に対する支援」（講義、演習）	金朋央（（特活）コリア NGO センター東京事務局長） 大川昭博（（特活）移住者と連帯する全国ネットワーク理事） 岡田澄恵（フリーランス・ソーシャルワーカー） 門美由紀（東洋大学助教） 山岸素子（カラカサン共同代表） 外国人ゲスト：星川マルガリータ、持田クルアワン、倉橋ジェラルディン
12 月 4 日	「外国人がより安心して子育てしやすい環境づくり」（講義、グループワーク）	川上千鶴（横浜市中区役所助産師） 廣野美賀子（横浜市中区役所国際サービス員） 長谷川俊雄（白梅学園大学教授） 岡田澄恵（フリーランス・ソーシャルワーカー）

(3) 留学生・元留学生への支援

① 留学生・元留学生への社会参加促進事業

日 程 平成 28 年 9 月 9 日（金）

会 場 KANAFAN STATION（横浜市神奈川区）

講 師 陳新（中国・横浜国立大学大学院留学生）、ドアン・ティール・フィン（ベトナム・横浜国立大学大学院留学生）、タパ・プラカス（ネパール・明海大学元留学生）、松本アルベルト（アルゼンチン・アイデアネットワーク代表）

テ ー マ 「先輩留学生に聞く「就職への道」」

対 象 県内の日本語学校及び専修学校に在籍している外国人留学生

参加者数 275 名

② グローバル人材支援事業【神奈川県委託】

ア 留学生支援拠点「かながわ国際ファンクラブ かなファンステーション」の運営

（（一社）NAP との協働事業）

（ア）KANAFAN STATION の運営

留学生等外国人及び支援団体等がイベント・交流等に自由に使用できるスペースを運営した。

期 間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

利用者数 7,160 件

（イ）留学生・外国人向けの情報提供・相談

日 程 毎週火・金・日曜日

内 容 留学生等の就職相談、日本語ボランティア等支援者向け相談、日本語学習中の外国人と日本人ボランティアのフリートーク等

イ ポータルサイト及びフェイスブック「かながわ国際ファンクラブ」の運営

(山陽印刷(株)との協働事業)

(ア)ポータルサイト「かながわ国際ファンクラブ」

内 容 かながわ国際ファンクラブ関連イベントの告知・報告や、サポート会員による情報提供等の掲載・更新追加等
期 間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
更 新 年間約94回
実 績 サイトユーザー数：15,907 ページビュー数：45,565

(イ) Facebook ページ「かながわ国際ファンクラブ」

内 容 Facebook ページ開設・運営
期 間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
実 績 ページへの「いいね!」数：997 投稿件数:125件

ウ かながわ国際ファンクラブ事業 (山陽印刷(株)、(一社)NAP との協働事業)

日 程 平成28年8月20日(土)、12月19日(月)、平成29年1月29日(日)、
3月12日(日)(4回実施)
会 場 かながわ県民センターホール(横浜市神奈川区)、JICA 横浜国際センター(横浜市中区)
内 容 かながわ国際ファンクラブ会員・サポート会員交流会
参加者数 266名

エ 就職支援事業 ((一社)NAP との協働事業)

(ア)マッチング機会の提供事業

日 程 平成28年7月23日(土)、10月9日(日)
会 場 かながわ県民センターホール(横浜市神奈川区)
内 容 留学生を対象に、留学生の採用を希望する県内企業の説明会を実施
参加者数 参加企業数 計27社、参加留学生数 計226名

(イ)就職支援セミナー事業

日 程 平成28年7月23日(土)、9月9日(金)、10月9日(日)
会 場 かながわ県民センターホール(横浜市神奈川区)
内 容 留学生の就職活動に必要な情報に関するセミナーを実施
参加者数 計241名

オ サポート・ファミリー事業

交流期間 平成28年9月～平成29年2月
内 容 日本人家庭・留学生の募集・登録・マッチング、顔合わせ交流会、個別連絡による交流・サポートの促進
登録者数 留学生14名、交流家庭45件
組合せ数 12組(留学生13名、家庭12件)

カ かながわ国際ファンクラブ魅力発信事業 (山陽印刷(株)との協働事業)

実施期間 平成28年5月～平成29年3月
番組公開数 18回
内 容 神奈川の観光情報、KANAFAN 交流会、県立高校生のためのサイエンスフェア、健康フェア、ベトナムフェスタなどの番組を制作し、インターネットを通じて配信

2 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進

(1) NGO/NPO へのサポート

① かながわ民際協力基金助成事業

「かながわ民際協力基金」の運用益を活用し、NGO 等が行う国際協力活動等に対して助成を行った。

ア 第 48 回審査委員会

日 程 平成 28 年 7 月 25 日 (月)

会 場 神奈川韓国会館 (横浜市神奈川区)

申請件数 10 件 (国際協力 5 件、国内協力 1 件、多文化共生の地域社会づくり応援事業 4 件)

助成件数 5 件 (国内協力 1 件、多文化共生の地域社会づくり応援事業 4 件)

助成額計 1,167,000 円

区分	助成事業名	団体名	実施地域	助成決定額
国内協力	フィリピン等「外国にルーツがある中学生」のための英語による学習支援教室事業	わたぼうし教室	横浜市 南区	367,000 円
多文化共生の地域社会づくり応援事業	在日ラオス人の子どもたちや若い世代へのラオス文化継承と大人への日本での暮らし方を学ぶ機会を提供する事業	(特活)在日ラオス協会	愛川町	200,000 円
	在日カンボジア人の日常生活を向上及び明るい日本社会につなぐ事業	(特活)在日カンボジアコミュニティ	平塚市	200,000 円
	外国人養育者の地域相互扶助グループの立ち上げと事業化	カムオン・シェシェ	横浜市 瀬谷区	200,000 円
	南米人コミュニティに対する CAC(Creative Art for Communication)ワークショップ及びリーダー養成のための全6回のトレーニングコース	SONRISA	藤沢市	200,000 円

イ 講演会の開催

日 程 平成 29 年 3 月 11 日 (土)

会 場 かながわ県民センター会議室 (横浜市神奈川区)

テ ー マ 「災害をきっかけにした人づくりの国際支援」

講 師 吉椿雅道 ((特活) CODE 海外災害援助市民センター事務局長)、小野行雄 ((特活) 草の根援助運動事務局長)、丸谷士都子 ((特活) 地球の木理事長)

参加者数 24 名

(2) 外国人コミュニティと地域社会の接点づくり

① 外国人コミュニティ連携強化事業

ア 外国人コミュニティの意見交換会の開催

日 程 平成 29 年 3 月 5 日 (日)

会 場 神奈川韓国会館 (横浜市神奈川区)

講 師 平山久美子 (社会保険労務士)

テ ー マ 「私たちの老後、これからどうなる? ~みんなが気になる年金の基礎知識~」

参加者数 20 名

イ 「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」の運営

アクセス数 42,628 件

掲載件数 107 件

情報収集先 外国人コミュニティ、NGO/NPO・ボランティアグループなど支援団体、県内自治体、国際交流協会等

U R L <http://www.kifjp.org/kcns/>

ウ あーすフェスタかながわ 2016 及び 2017 の実施への参加

実行委員会及び企画委員会に参加し、企画等を行った。

(3) 県民活動支援

① 情報発信事業

ア 情報提供事業

財団ホームページを運営し、多方面に情報提供を行った。

アクセス数 405,340 件

言語 5 言語 (英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語)

※一部のコンテンツについては、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語、タイ語、カンボジア語、ラオス語の 10 言語に翻訳

U R L <http://www.kifjp.org>

イ 年次報告書の発行

年次報告書を発行し、多方面に財団の取り組みの概要に関する情報提供を行った。

部数 3,000 部

仕様 A4 版/31 頁

配布先 財団会員、寄付者、事業関係者等

ウ 多文化理解促進のための講師派遣

神奈川県内の多文化共生の地域づくりの状況などの理解を促進し、啓発を行うため、財団職員が研修会等の講師を務めた。

日程	会場	依頼者	講義内容
4月14日	柏木学園実業専門学校 (大和市)	柏木学園実業専門学校	日本留学で何を学ばばいいのか
11月8日	昭和音楽大学 (川崎市麻生区)	昭和音楽大学	あなたの隣の外国人と多文化共生の社会を目指して
11月12日	富士見文化会館 (大和市)	外国人支援ネットワーク すたんどばいみー	かながわ国際交流財団の取り組みの歴史および他団体への支援について
12月13日	横浜国立大学 (横浜市保土ヶ谷区)	横浜国立大学 国際社会科学研究院	地域課題法学演習「かながわに住む外国人住民」

3 国際性豊かな人材の育成

(1) 高校国際教育支援

① 高等学校への学習プログラム支援事業

高校生が地域と世界へ興味・関心を持つよう、財団が培ってきた国際教育のノウハウおよび講師のネットワークを活用し、県内高校に講師を派遣し国際教育を支援した。

日程 平成 28 年 8 月～12 月

会場 県内高校

対象 県内高校生

内容 講演、ワークショップなど

実施校数 15 校 (5,074 名)

(県立伊志田高校、県立白山高校、県立百合丘高校、県立松陽高校、県立新羽高校、県立橋本高校、県立横浜清陵総合高校、県立茅ヶ崎高校、県立藤沢総合高校、県立横須賀大津高校、横浜創学館高校、県立平塚江南高校、県立西湘高校、県立神奈川総合高校、川崎市立橋高校 (実施順))

② 高校生対象国際セミナー開催事業

ア 青少年国際セミナー

「世界の入口に立とう！」を共通テーマに、世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション力と多様なものの見方を育むための国際セミナーを実施した。

【第1回】

日 程 平成 28 年 12 月 18 日（日）
会 場 JICA 横浜国際センター（横浜市中区）
講 師 近藤牧子、西あい（(特活) 開発教育協会職員）、林大介（東洋大学社会学部社会福祉学科助教）、神戸和佳子（東京大学大学院教育研究科博士課程）、青年海外協力隊 OB/OG、JICA 研修員
テ ー マ 「若者の社会参加」
対 象 県内在住及び在学の高校生及び 18 歳以下の社会人
参加者数 37 名
共 催 （独行）国際協力機構横浜国際センター
後 援 神奈川県教育委員会、(一財) 神奈川県私立中学・高等学校協会、横浜市教育委員会

【第2回】

日 程 平成 29 年 3 月 25 日（土）～26 日（日）
会 場 湘南国際村センター（三浦郡葉山町）
講 師 岸磨貴子（明治大学国際日本学部特任准教授）、榊田純子（(特活) 難民を助ける会職員）、飛田勘文（桐朋学園芸術短期大学非常勤講師）、古藤吾郎（(特活) 難民支援協会ソーシャルワーカー）、神戸和佳子（東京大学大学院教育研究科博士課程）
テ ー マ 「世界の入口に立とう～今こそ知りたい! 考えたい! 世界の難民と私たち～」
対 象 県内在住及び在学の高校生及び 18 歳以下の社会人
参加者数 17 名
後 援 神奈川県教育委員会、(一財) 神奈川県私立中学高等学校協会

イ インターナショナル・カフェ事業

(ア) インターナショナル・カフェ (KANAFAN STATION)

各回 4 名前後の留学生が出身国の文化や習慣を日本の高校生・大学生に紹介し、英語や日本語でコミュニケーションをする交流会を開催した。

日 程 平成 28 年 5 月 22 日、6 月 26 日、7 月 24 日、8 月 28 日、9 月 25 日、
平成 29 年 1 月 27 日、平成 29 年 1 月 22 日、2 月 26 日(すべて日曜日/8 回実施)
会 場 KANAFAN STATION（横浜市神奈川区）
講 師 県内留学生等 26 名（18 か国）
対 象 県内高校生
内 容 留学生の出身国紹介、交流・ディスカッション
参加者数 105 名

(イ) インターナショナル・カフェ（フィールドワーク）

県営いちょう団地を訪ね、インドシナから難民として来日した方々と交流した。

日 程 平成 28 年 10 月 23 日（日）

会 場 県営いちょう団地（横浜市泉区／大和市）

コーディネーター トルオン・ティ・トゥイ・チャン（横浜市泉区役所外国人相談窓口ベトナム語通訳）

対 象 県内高校生

参加者数 18 名

(2) 大学間連携グローバル人材育成

① 国連大学グローバルセミナー開催事業

国連大学と共催し、県内大学をはじめ、首都圏を中心とする大学の協力を得、留学生を含む学部 3、4 年生と大学院生を主な対象として実施した。国内外の研究者・専門家等による講義や、テーマに即した神奈川県内の具体的取り組みを題材にした「かながわセッション」及び 8 つの分科会を設けた。

日 程 平成 28 年 8 月 30 日（火）～9 月 2 日（金）（3 泊 4 日）

会 場 湘南国際村センター（三浦郡葉山町）

講 師 小和田恆（国際司法裁判所裁判官）、ヴェセリン・ポポフスキー（ジンダル・グローバル大学法学大学院副学長）他

対 象 大学生、大学院生、留学生

テ ー マ 「国際社会と法の支配 Global Society and the Rule of Law」

【かながわセッション】

A. 「地域からヘイトスピーチを闘うー在日コリアン集住地域におけるコリアンルーツ市民の社会参加とヘイトスピーチ」

B. 「学校や日本社会における「多文化共生」を考えるー外国につながる子どもたちの現状と未来」

C. 「無国籍者の人権と法の支配」

D. 「持続可能な社会に向けた環境正義」

参加者数 83 名（うち、留学生 24 名（8 か国））

共 催 国際連合大学

協 力 （公財）国連大学協力会

協力大学 青山学院大学、慶應義塾大学、東海大学、横浜国立大学、国際基督教大学、国際大学、中央大学、津田塾大学、東京大学、早稲田大学

② インカレ国際セミナー開催事業

「アジアの中の日本」を統一テーマとして、首都圏の大学、研究者等との協力を得て開催した。アジア諸国と日本の新たな関係構築など、基調講演及び事前学習を含む 5 つの分科会での演習を中心として議論を行った。

日 程 平成 28 年 11 月 25 日（金）～11 月 27 日（日）（2 泊 3 日）

会 場 湘南国際村センター（三浦郡葉山町）

講 師 高原明生（東京大学法学部教授）

対 象 大学生（主に学部 1、2 年生）

テ ー マ アジアの中の日本ー新しい協力関係に向けて

分科会 A 自由貿易の功罪

分科会 B 中国と AIIB - 浮上する新たな経済秩序

分科会 C 海の安全保障と地域秩序

分科会 D 新しい外交関係の構想

分科会 E Managing Resources and Environment and Promoting Sustainability

参加者数 89名（うち、留学生17名（10の国・地域））

協 力 インカレ国際セミナー組織委員会

協力大学 青山学院大学、神奈川大学、東海大学、東洋英和女学院大学、横浜国立大学、横浜市立大学、東京女子大学、一橋大学、早稲田大学

4 学術・文化交流の促進

(1) 学術交流によるローカリゼーションの強化

① かながわフォーラム開催事業

グローバリゼーションの潮流のもとで、格差の拡大やそれに伴う貧困の拡がり、またコミュニティの崩壊などの社会的課題の解決に向けて、県内の現状を踏まえながら議論を行った。平成28年度より「神奈川のコミュニティとグローバリゼーション」をテーマに年間4回のシリーズとした。多様な団体の協力を得て企画運営を行い、幅広い分野からの参加を得た。

ア 第1回（キックオフ講演会）

日 程 平成28年6月2日（木）

会 場 神奈川中小企業センタービル（横浜市中区）

講 師 宮本太郎（中央大学法学部教授）、鈴木晶子（（一社）インクルージョンネットかながわ代表理事）

テ ー マ 「社会的包摂で新しいコミュニティをつくる
～福祉ガバナンスと自治体の役割困窮と孤立を超えて～」

参加者数 55名

共 催 神奈川県、（一社）インクルージョンネットかながわ

後 援 （社福）神奈川県社会福祉協議会、（公財）かながわ福祉サービス振興会、（公財）神奈川県社会福祉士会、（特活）神奈川県介護支援専門員協会、神奈川県弁護士会

イ 第2回（テーマ別フォーラム①）

日 程 平成28年8月24日（水）

会 場 横浜情報文化センター（横浜市中区）

講 師 片山睦彦（藤沢市福祉部長）、石黒知美（鎌倉市健康福祉部市民健康課長）

テ ー マ 「格差・貧困の拡がりと家族・コミュニティのあり方
～県内自治体での実践を踏まえて～」

参加者数 29名

共 催 神奈川県、（一社）インクルージョンネットかながわ

後 援 神奈川新聞社、（社福）神奈川県社会福祉協議会、（公財）かながわ福祉サービス振興会、（公財）神奈川県社会福祉士会、（特活）神奈川県介護支援専門員協会、神奈川県弁護士会

ウ 第3回（テーマ別フォーラム②）

日 程 平成28年11月11日（金）

会 場 湘南国際村センター（三浦郡葉山町）

講 師 名和田是彦（法政大学法学部教授）、府川悟志（小田原市市民部地域政策課長）

テ ー マ 「コミュニティの担い手になるために～制度的な課題を考える～」

参加者数 29名
共催 神奈川県、(一社) インクルージョンネットかながわ
後援 神奈川新聞社、(社福) 神奈川県社会福祉協議会、神奈川県市長会、神奈川県町村会、小規模多機能自治推進ネットワーク会議、コミュニティ政策学会

エ 第4回(総括シンポジウム)

日程 平成28年11月12日(土)
会場 湘南国際村センター(三浦郡葉山町)
講師 井手英策(慶應義塾大学経済学部教授)、鈴木恒夫(藤沢市長)他
テーマ 「ともに支え合うコミュニティをつくるためのダイアログ分断社会から、ともに支え合う社会へ〜『創る』民主主義の時代〜」
参加者数 37名
共催 神奈川県、(一社) インクルージョンネットかながわ
後援 神奈川新聞社、(社福) 神奈川県社会福祉協議会、神奈川県市長会、神奈川県町村会、小規模多機能自治推進ネットワーク会議、コミュニティ政策学会

② 湘南国際村アカデミア開催事業

湘南国際村内外の多様な研究機関等と連携・協力し、それらの研究成果を県民にわかりやすく提供する学習機会とした。平成28年度は会場を湘南国際村の外も実施し、広く県民への生涯学習の機会を提供した。また、(株)湘南国際村協会が事務局を担う湘南国際村フェスティバルに参加・出展することにより、多文化共生の地域社会づくりに向けた理解を拡げる一助とした。

ア 湘南国際村アカデミア

日程 平成29年1月28日(土)
会場 (公財)地球環境戦略研究機関(IGES)(三浦郡葉山町)
講師 仲田宗行(IGES自然資源・生態系サービス領域研究員)
テーマ 「今さら聞けない!?気候変動」
参加者数 61名
共催 (公財)地球環境戦略研究機関

イ カフェ・インテグラル

日程 平成28年12月10日(土)
会場 神奈川県立保健福祉大学(横須賀市)
モデレーター 佐伯晃一(総合研究大学院大学先端科学研究科特別研究員)
講師 古谷野伸(神奈川県立保健福祉大学人間総合・専門基礎担当教授)
渡部厚志(IGES持続可能な消費と生産領域研究員)
テーマ 「みんなで語る食の安全・安心—食物アレルギーと地産地消—」
参加者数 20名
協力 神奈川県立保健福祉大学、総合研究大学院大学、(公財)地球環境戦略研究機関、湘南国際村情報発信強化委員会

ウ 湘南国際村フェスティバルへの参加協力

日程 平成28年5月3日(火)~5月5日(木)
会場 湘南国際村センター(三浦郡葉山町)
テーマ 「子どもたちの絵画を通じてかながわから世界につながろう」
内容 カナガワビエンナーレ国際児童画展、外国人学校の子どもの絵画展の作品展

示、ギャラリートーク、工作コーナー設置及び県内の多文化状況と紹介や財団事業紹介等

参加者数 1,505名

協 力 外国人学校の子どもたちの絵画展実行委員会、県立地球市民かながわプラザ

(2)文化交流の推進

「すべての地域住民」に「ミュージアムへのアクセス」を保障していくべきという考え方の下、県内美術館の館長・学芸員が集い、「地域」におけるミュージアムの意義に立ち返るとともに、将来の事業展開を検討した。また第7回ミュージアム・サミットの記録の出版に向けた編集作業を行った。

① 社会教育・文化施設間連携事業

ア 運営委員会

神奈川県立近代美術館、茅ヶ崎市美術館、平塚市美術館、横須賀美術館、相模湾・三浦半島アートリンクの各代表者及び学識経験者（女子美術大学）により構成

【第1回】

日 程 平成28年6月22日（水）

会 場 神奈川県韓国会館（横浜市神奈川区）

内 容 参加館の紹介及び調査報告「ロンドンにおける多文化共生の取り組み」他

講 師 吉荒佳枝（ArtLogue（ロンドン）代表）

【第2回】

日 程 平成28年8月19日（金）

会 場 関東学院大学関内メディアセンター（横浜市中区）

内 容 社会教育・文化施設間連携事業の目指す方向について

【第3回】

日 程 平成28年12月9日（金）

会 場 神奈川県韓国会館（横浜市神奈川区）

内 容 次年度実施予定の事業について

【第4回】

日 程 平成29年3月22日（水）

会 場 関東学院大学関内メディアセンター（横浜市中区）

内 容 平成29年度実施予定の事業について

イ 作業部会

神奈川県立近代美術館、茅ヶ崎市美術館、平塚市美術館、横須賀美術館の学芸員、相模湾・三浦半島アートリンク、イミグレーション・ミュージアム・東京及び(一社)Kuriya の実践者による構成

【第1回】

日 程 平成28年7月4日（月）

会 場 関東学院大学関内メディアセンター（横浜市中区）

内 容 参加館の紹介及び調査報告「ロンドンにおける多文化共生の取り組み」他

講 師 吉荒佳枝（ArtLogue（ロンドン）代表）

【第2回】

日 程 平成28年9月20日（火）

会 場 関東学院大学関内メディアセンター（横浜市中区）

内 容 アートを通じた多文化共生の取り組み事例の紹介他

講 師 岩井成昭（イミグレーション・ミュージアム・東京）、海老原周子（(一社) Kuriya）

【第3回】

日 程 平成 28 年 10 月 27 日 (木)
会 場 関東学院大学関内メディアセンター (横浜市中区)
内 容 美術館におけるインクルーシブデザインの先進事例の紹介他
講 師 岡崎智美 (横浜美術館教育普及グループ主任エデュケーター)、梅田亜由美 (女子美術大学非常勤講師)、西岡克浩 ((株) 丹青社CGクリエイター)

【第4回】

日 程 平成 28 年 12 月 9 日 (金)
会 場 神奈川韓国会館 (横浜市神奈川区)
内 容 次年度実施予定の事業について

【第5回】

日 程 平成 29 年 2 月 23 日 (木)
会 場 神奈川県立近代美術館・葉山館 (三浦郡葉山町)
内 容 次年度実施予定の事業について

【第6回】

日 程 平成 29 年 3 月 22 日 (水)
会 場 関東学院大学関内メディアセンター (横浜市中区)
内 容 次年度事業の実施計画について

(3) 調査研究

当財団のミッションの遂行を念頭に、中長期的な視野に立ち、神奈川県域における人づくり・地域づくりに関わる顕在的・潜在的な重要課題について現状を調査し、結果を財団の各事業に反映させた。

① 調査研究事業

ア グローバル人材育成事業におけるアクティブラーニングの導入に関する予備的調査

当財団のグローバル人材育成事業に資するため、関係者のヒアリングを行うとともに、具体的な事業へ反映させていく上での検討会を開催した。

(ア) ヒアリング

期 間 平成 28 年 5 月～平成 29 年 1 月
対 象 者 18 名 【内訳】 NGO/NPO 関係者 4 名、理事・評議員関係者 4 名、インカレ国際セミナー関係者 10 名

(イ) 検討会

検討委員 大芝亮 (青山学院大学教授)、椛島洋美 (横浜国立大学教授・当財団評議員)、貴家勝宏 (東海大学教授)、木下理仁 (かながわ開発教育センター理事、東海大学非常勤講師)、木村乃 (ビズデザイン株式会社代表取締役、明治大学特任准教授)

開催回数 2 回 (第1回 平成 29 年 1 月 31 日、第2回 平成 29 年 2 月 27 日)

イ KIF 設立 40 周年・資料整備等

昭和 52 年 2 月に設立され 40 周年を迎えた当財団の歩みを振り返り、資料の整理を行うとともに財団の歩みについてインターネットで発信した。

内 容 財団発行物や活動記録の収集・保存、ホームページの開設 (40 年のあゆみ (年表)、事業紹介ブログ)

ウ 自治体における協議会型住民自治組織の現状についての追加調査

平成 26 年度に県内自治体を対象として実施した「自治体における協議会型住民自治組織」調査を踏まえて、その後の状況を調べるための追加調査を実施し、取り組みが進んでいる小田原市等の調査結果は 21 世紀かながわ円卓会議のテーマ別フォーラムで報告した。

対 象 協議会型住民自治組織を設置している自治体 11 市町

(横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、二宮町)

エ 松田町国際交流事業【松田町委託】

神奈川県松田町の委託を受け、外国人観光客の増加に向けた環境整備を進めるため、外国人モニターによる現地調査を実施した。

実施時期 平成 29 年 2 月 24 日（金）～25 日（土）

調 査 員 アメリカ、フランス、韓国、オランダ及びドイツの留学生

対象地域 神奈川県松田町

内 容 留学生等外国人による現地調査及び地域住民との交流並びに報告書作成

② 学術交流・成果発信事業

財団事業の成果を県内外に周知するため、かながわフォーラムの総括シンポジウムの模様を同時配信するとともに YouTube において公開をした。